

船上入学式

2012年4月3日、ホンダテクニカルカレッジ関東校第37回入学式が、客船「ふじ丸」の船内にて執り行われました。
本年度、関東校は287名の仲間を迎え入れ、新年度をスタートいたしました。ここで大木校長による式辞の一部をご紹介します。

本田さんは「技術は人間に奉仕する一つの手段にすぎない」と考えています。技術は人の役にたつて初めて価値があるものであり、技術を志す者はまず人への思いやりを持ち、人間を尊重する心を持っていなければならぬ、という強い信念を持っていたのです。

皆さんは「技術は人間に奉仕する一つの手段にすぎない」と考えています。技術は人の役にたつて初めて価値があるものであり、技術を志す者はまず人への思いやりを持ち、人間を尊重する心を持っていなければならぬ、という強い信念を持っていたのです。

価値観も異なる人々と接するのが社会であり、そこで受け入れられるためにはそれなりの備えが必要です。ここでいう備えとは最も基本的な三つ、すなわち「挨拶」「言葉遣い」「身だしなみ」です。決して難しいものではありませんが、意識して訓練しないとできないものばかりです。皆さんがプロを目指す以上、高い意識で取り組んで頂きたいことのひとつです。

二つ目は「実践第一の技術力を学ぶ」ということです。自動車業界ではどんな技術革新が進んでいても、とくに環境や安全を守るための技術はますます高度化していきます。ハイブリッドや燃料電池自動車などは少し前にはなかった技術です。本校ではこういった技術の進化をタイムリーかつ実践的に学ぶことができます。ぜひ、このメリットを十分に生かして学びに役立ててください。

三つ目は「社会貢献の心と行動力を育む」ということです。皆さんを迎えるのは私たちが教職員や先輩たちだけでなく、学校周辺の住民の方々と地域社会も同様のものです。時に温かく、時に厳しく私たちを見ておられます。この地で学ぶことは、同時に周辺社会との調和を求められるものだ、ということ強く意識してください。

最後に、改めて、夢に向かう皆さんの新たな船出をお祝いいたします。本日は本におめでと。

昨日まで皆さんは学校の「生徒」でした。今日からはホンダ学園の「学生」です。「生徒」とは先生から勉強を教えてもらう者であり、「一方」で「学生」とは自ら行動を起こして学問を学び取る者です。一人ひとりが夢を持ち、目標に向かって突き進んでいってほしいと思います。



祝辞を述べる大木校長

自動車整備科	第37期生	154名
一級自動車整備研究科	第12期生	65名
国際自動車整備科	第5期生	6名
自動車開発エンジニア科	第5期生	62名

いろいろな申し上げましたが、この学校は皆さんの夢の実現をサポートする場です。さまざまな人々や事柄との出会い、幅広い経験や見聞の機会が十二分に用意されています。皆さんが自分の夢の実現に向けて、大いにこの学校を活用し、充実した学園生活を送られることを期待しています。

チャレンジの航海へ出発！ 洋上研修

入学式終了後、新入生を乗せた船は洋上研修へと出発いたしました。洋上研修には、自分自身を変革しながら何事にもチャレンジできる人に成長して欲しいという思いがこめられています。日常



研修会場となった客船「ふじ丸」

的な生活から離れ、新しい仲間たちと一緒に過ごし、自分自身と向き合うことで、学園で学ぶための準備をしてもらうためにも、新入生の皆さんには船上にて様々なプログラムに挑戦してもらいました。



グループ研修の様子

入学式も兼ねた研修初日、初めて会う人たちがばかりの中で緊張の連続といった様子でしたが、翌日にもなると表情は次第に明るくなり周囲からは賑やかな話し声が聞こえるようになってきました。研修の合間にはデッキでのランチを満喫し、クイズ大会も大盛況でした。



2日目になると話し声も賑やかに

研修中のアンケートでは「自然に友達ができている」「早く授業を受けたい」という回答も多く、皆さんがそれぞれに、新しい仲間と出会うことができたようです。

洋上研修は終了いたしました。新入生の皆さんが乗船した「ホンダ学園」丸の航海は始まったばかりです。



研修中は笑顔がいっぱいでした

ニュージーランド & オーストラリア研修へ出発!!

3月13・15日、海外研修に参加する国際自動車整備科の8名と、別プログラムに参加する自動車整備科の2名が、家族や友人に見送られ、海外研修へ出発いたしました。学生の皆さんは現地ディーラーでの実務経験を通して、整備技術や英語力の向上を目指します。9ヶ月におよぶ就労研修の様子は、学生の皆さんが定期的に書いているレポート(ブログ)にてご覧いただけます。詳しくは学校ホームページをご覧ください。



NZへ向かう国際科のみなさん

桶川安全運転講習

埼玉県桶川市の交通教育センターレインポー埼玉にて、毎年新入生を対象とした安全運転講習を実施しています。2日間の講習では4輪・2輪の正しい扱い方と事故を回避するポイントを学んでいます。急制動やスラローム、教官による実演を見ながら、交通社会の一員として、安全運転の技術や思想を学んでいます。



着任しました



高木 清

3月1日より自動車開発エンジニア課に着任いたしました。以前はHGAデザイン開発室にて2輪の機種開発を担当しておりました。商品開発に於いて3Dデータの重要度は益々高まっており、しっかりと造形力を基にデータを活用して物造りができる人材が求められています。開発で培った技術と、物造りの面白さを伝えて、新しい時代の物造りができる若い力を育ててゆきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



春原 雄一

3月1日付で着任いたしました春原と申します。25年前はみなさんと同じホンダ学園の学生でした。着任前はホンダコンサルティングに在籍し、国内サービススタッフの方々へ新製品の社内資格の研修講師を経験してまいりました。講師としての経験を生かし、ホンダ学園のみなさんが社会にでてから大きな失敗をしないよう、私がこれまで体験してきたことを少しずつお伝えしていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。



郡司 慶一郎

4月1日付で関西校より自動車開発エンジニア科に赴任いたしました郡司と申します。関西校では自動車整備科2年の電装単元で教務を行ってまいりました。埼玉製作所でのライン作業・ホンダエンジニアリングでの生産技術開発及び技術系コンピュータのインフラ構築等での経験を基に、皆さんが社会へ出るために少しでも役に立てるように全力で頑張っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



茂野 泰士

5月1日付で埼玉製作所狭山工場よりまいりました茂野と申します。狭山工場では完成車組立課に20年所属し、組立作業の現場で工程編成や品質管理、安全指導等を行ってまいりました。ホンダ学園ではサービスマンとしてエンジニア単元を担当させていただきます。学生の皆さんには技術習得はもちろんです。製造現場経験から安全を認識した作業や人との関わり合いの大切さなどを伝えていけたらと思います。私自身まだまだ勉強中ではありますが、宜しくお願い致します。

異動しました



五月女 浩

私は、4月1日付で関西校へ異動いたしました。関東校で過ごした7年間は戸惑いの連続でしたが、多くの皆様のお力添えでここまで来ることができました。心より御礼申し上げます。学生の皆様と共に成長してきた自動車開発エンジニア科は、物づくりのための人づくりの場として、今後更に社会から期待される学科となっていくものと信じております。これからもより多くの若者の夢を実現するために頑張ってまいります。皆様にもまたどこかでお会いできることを楽しみにしております。本にお世話になりました。

第35回卒業式

2012年3月16日、川越プリンスホテルにて、ホンダテクニカルカレッジ関東校第35回卒業式が執り行われました。晴天に恵まれたこの日、保護者の皆さま、来賓の皆さまならびに、教職員に見守られ、180名の学生がホンダ学園を卒業いたしました。今年度、関東校・関西校をあわせて400名が卒業し、ホンダ学園の卒業生総数は1万7100名を超えました。ここで、大木校長の式辞を一部ご紹介させていただきます。

学生の皆さん、本日はご卒業、誠にありがとうございます。本日でたく卒業式を迎え、四月から皆さんはいよいよ社会人です。社会の一員として、積極的な役割を担うこと、社会を前進させるために貢献すること、それが社会人になるということではないでしょうか。そのために大切な点を二つほど申し上げたいと思います。

一つ目は「周りの人たちのつながりを大切にすること」です。そのためには、相手の気持ちになり、相手が望んでいることを感じ取り、自分の持つ一杯の誠意を差出すことです。小さなことでも誠意を持って行い、少しずつ信頼を勝ち取れば、徐々に仕事を任せられるようになり、そして信頼が大きくなれば、任せられる仕事もより大きくなるでしょう。

もう一つは、「自分が選んだ仕事に価値を見出し、それを信じる」ということです。例えば、開発技術者であれば、お客様の期待を超えるような新しい商品を開発することです。整備士であれば、お客様に安心してクルマに乗って頂けるよう最高の安全と笑顔を提供することです。自分が選んだ仕事の価値を信じ、打ち込めば、必ずや自分にとっての夢や目標を見ることが出来るでしょう。日々の仕事というのは、現実には小さなことの繰り返しであり苦しいことの連続ですから、それが続けばくじけ



卒業生総数	180名
一級自動車整備研究科	46名
自動車整備科	93名
国際自動車整備科	5名
自動車開発エンジニア科	36名

社会に於ては、自分は、技術という手段を通じて人に喜んでもらっているだろうか、技術者として人から愛され信頼されるまでになっているだろうか、と問い続けて下さい。最後になりますが、近い将来、皆さんと同じ技術者同士として語り合えることを楽しみにしつつ、これで私の贈る言葉とさせていただきます。本日は本当におめでとう。

MECHANIC CLUB

全日本ロードレースピットサポート

2012年全日本ロードレース選手権がいよいよ始まりました。メカニック部は、久保山正朗選手（Honda浜友会浜松エスカルゴ）のサポートメンバーとして、第1戦からピットサポートを行っています。ピットでは主に足回りのメンテやクリーニングを担当。作業の1つひとつがライダーの安全やタイムに関わるため責任は大きいですが、チームは第3戦まで無事チェッカーフラッグを受け完走しています。部員の皆さんが書いたレポートには、ピットでの反省点や小さな気づきが詳細に記されており、プレッシャーを感じながらも何かを吸収しようという意気込みが伝わってきます。今後もメカニック部の活動にご注目ください！

久保山 正朗選手
久保山選手とメカニック部の皆さん

復興支援ボランティア活動

有志学生の皆さんによる自転車修理のボランティアは、震災発生から1年となる2012年3月11日を最後に全ての活動を終了いたしました。活動場所を提供して下さいました避難所・仮設住宅の方々、義援金にご協力いただいた在校生・教職員の皆さま、誠にありがとうございました。

活動に参加した学生の皆さん

活動場所	活動履歴	修理台数
宮城県気仙沼市	第1回：3/30～3/31	自転車修理・点検：364台
・面瀬中学校 (14回)	第2回：4/16～4/17	バイク修理：9台
・好文館高校 (2回)	第3回：5/7～5/8	自動車修理：11台
・釜小学校 (1回)	第4回：5/21～5/22	自転車等寄付：6件
・鹿折 (1回)	第5回：6/4～6/5	汎用エンジン修理：11台
石巻市	第6回：6/18～6/19	その他、電化製品等：11台
・鹿妻小学校 (6回)	第7回：7/1～7/2	総計403台
・湊小学校 (1回)	第8回：7/22～7/23	
・蛇田中学校 (1回)	第9回：8/27～8/28	
・青葉中学校 (1回)	第10回：9/30～10/1	
・渡波小学校 (1回)	第11回：11/12～11/13	
・渡波中学校 (1回)	第12回：2012/1/13～1/15	
・万石浦周辺 (4回)	第13回：2012/2/18～2/19	
その他	第14回：2012/3/10～3/11	

巡回展示「モノ語り展」特別講演

4月16日～19日、Honda汎用製品の事業所巡回展示「モノ語り展」が本校でも開催されました。時代が大きく変化するなか「ホンダらしさ」を考えるきっかけになればということで、最終日には特別講演が行われました。講演して下さいました本田技術研究所の飯倉さんは、Hondaの「三現主義」に触れながら、海外での体験や開発の話をしてくださいました。飯倉さんの講演は、聴講する学生を飽きさせない為の工夫が随所にあり「ホンダらしさ」を考える、大変貴重な機会をいただきました。

1965年の貴重な発電機も展示された

一級自動車整備研究科 喜びを体験 GW自動車点検

この春、国家二級整備士を取得した一級自動車整備研究科の3年生がゴールデンウィークを利用して保護者の自動車点検を行いました。授業以外で点検内容の説明やメンテナンスに関わるアドバイスをするのは初めてという学生も多かったと思いますが、成長の証と感謝の気持ちを示すことができました。「またお願いしたい」「とても心強い」といった褒め言葉もいただき、お客様に喜んで頂くということを体感することができたのではないのでしょうか。今後お客様に喜びを提供することを目指し、技術に磨きをかけて欲しいと思います。

自動車開発エンジニア科 卒業製作発表会

3月7・8日、自動車開発エンジニア科2年生による卒業製作発表会が行われました。学科では本田技術研究所の開発プログラム同様に、製品の企画から設計、製作、発表までのモノづくりプロセスを学んでいます。発表会は成果を披露する晴れの舞台となり、学生の皆さんは緊張した表情で臨んでいました。「モノづくりできますと自信をもって言ってください」総評にて先生が言われたお言葉です。卒業を目前に控えた皆さんにとって、大変うれしい言葉であったに違いありません。同時に4月より進級した皆さんは、先輩を超えるという大きな目標が出来ました。

平成23年度 卒業製作のテーマ

- 折りたたみ電動バイク
- パルスエンジンの研究
- インホイールモーターの研究
- Electric Motor Cycle
- スターリングエンジンの研究
- エコラン車両の研究

退任のあじふ

4月1日付けで(株)ホンダカーズ東京中央に復帰しました。社会人講師として2年間、在学中の自分を思い出しながら授業を通して若い皆さんの可能性を実感できた事は大きな収穫でした。今後は卒業されてくる皆さんを受け入れる立場で良い労働環境を提供できるよう、努力してまいります。この様な貴重な機会を頂いて頂いた学園とご指導頂きました先生方には大変感謝しております。有難うございました。

小谷野 光弘
4月1日より(株)ホンダカーズ玉鶴ヶ島南店に復帰致します。2年間という短い間でしたが社会人講師として皆さんと一緒に過ごせた時間はとても貴重な経験となりました。皆さんは、これから卒業して社会人になるわけですが、残された時間を有意義に使って、社会人としての基礎を身につけながら勉学、遊びに励んでください。今後の活躍を期待しています。2年間ありがとうございました。

内田 均
社会人講師として2年間、在学中の自分を思い出しながら授業を通して若い皆さんの可能性を実感できた事は大きな収穫でした。今後は卒業されてくる皆さんを受け入れる立場で良い労働環境を提供できるよう、努力してまいります。この様な貴重な機会を頂いて頂いた学園とご指導頂きました先生方には大変感謝しております。有難うございました。